

コース一覧(受講料・開講時期)

コース	講座	科目・概要	講師名	受講料(円)	開講時期(※1)	募集時期	
AI・データサイエンス	知的モビリティのための 深層学習 (※2)	安全運転支援・自動運転技術入門 安全運転支援・自動運転を支える認知機能に関する基礎的な技術について理解を深める。	榎田修一			詳細はお問合せ下さい	
		画像認識技術総合演習 演習を通して、深層学習による画像認識に関する基礎的な技術の理解を深める。	榎田修一			詳細はお問合せ下さい	
		三次元点群認識技術総合演習 演習を通して、深層学習による三次元点群認識に関する基礎的な技術の理解を深める。	榎田修一			詳細はお問合せ下さい	
		深層強化学習総合演習 演習を通して、深層強化学習による行動獲得に関する基礎的な技術の理解を深める。	榎田修一			詳細はお問合せ下さい	
	—	基礎から学べるPythonプログラミング Pythonの文法について学び、正規表現やクラスの概念を理解し、データ処理の基礎を修得する。	嶋田和孝	44,000	夏頃予定	春頃予定	
—	自然言語処理と機械学習入門 Pythonで簡単な自然言語処理・機械学習のプログラムが書けるようになる。	嶋田和孝	44,000	夏頃予定	春頃予定		
—	データサイエンス基礎 エクセルデータなどの比較的簡単な数値データに対してPythonによるデータの読み込み、前処理、機械学習モデルによる分析や結果に対する考察がある程度行えるようになることを目標とする。	宮野英次	44,000	夏頃予定	春頃予定		
—	生成系AI入門 実践式およびワークショップなどを通じて世の中のデジタルやAIに関する知見やプロンプトといったスキルを習得できる。	岡田義史	44,000	夏頃予定	春頃予定		
応用ソフトウェア開発支援士 (※2)	—	IoT時代の組込みプログラミング MPUボードを用いたシステム開発ができ、オブジェクト指向と実時間システムに基づいた手法で、ネットワーク上の連携を実現できる。	小林史典	44,000	夏頃予定	春頃予定	
		基礎から学べるPythonプログラミング Pythonの文法について学び、正規表現やクラスの概念を理解し、データ処理の基礎を修得する。	嶋田和孝	44,000	夏頃予定	春頃予定	
		基礎から学べるスマートコントラクト開発 Solidity 言語を用いたスマートコントラクトを作成し、ブロックチェーンを利用したアプリケーションが作成できるようになる。	外部講師	44,000	夏頃予定	春頃予定	
		ウェブサイトの構築を通じて学ぶクラウド基礎 ソフトウェアの開発、ローンチにおいて必須の技術となっているクラウドの基礎を修得する。	外部講師	44,000	夏頃予定	春頃予定	
		データ変換が直接表現できるElixir 言語で学ぶIoT 応用 Elixir を題材に関数型言語によるプログラミングを理解し、IoT 開発への応用ができる。	外部講師	44,000	夏頃予定	春頃予定	
		実践演習・APIを活用したソフトウェア設計 ソフトウェア開発では、APIを活用して機能を改良することや開発工数の削減は頻繁に行われており、APIを利用する演習は実践的であり就業後に即役立つ。	外部講師	44,000	夏頃予定	春頃予定	
		基礎から学べるCプログラミング C言語を用いてプログラミングの概念を学びつつ、データ構造とアルゴリズムやオブジェクト指向に繋がる基礎を修得する。	嶋田和孝	44,000	夏頃予定	春頃予定	
		情報リテラシー コンピュータを扱う基本的な技術とコンピュータに関する基本的な知識を修得する。	山口真之介	10,200	5月	3月	
		情報倫理 情報社会の光と影について、適切に対応できる知識や技術等、情報モラルのスキルと習得するための演習。	阿濱茂樹	15,400	9月	3月	
		情報ネットワーク ネットワーク工学の基本を、毎日使うウェブやメールの仕組みから、トラブル時に役立つ知識まで、広く修得する。	小林史典	15,400	10月	3月	
高度ソフトウェア	情報教育支援士 情報基盤整備支援士 (※2)	支援士実習 教育支援実習、基盤整備支援実習	実習講師	15,400	7月	3月	
		プログラミング入門 プログラミングの初歩を学び、続いてプログラミング言語Cを用いて基礎を学び、コンピュータによる問題解決の手段を修得する。	篠原武	15,400	9月	3月	
		情報教育の理論 小・中・高校における情報教育の目標や内容、実施状況を概観し、情報教育支援士の意義や仕事内容、仕事の実態等について、事例を示しながら具体的に解説する。	西野和典 池田勇 山崎由美子	15,400	6月	3月	
		情報社会と教育 情報社会における教育の変革や情報化について理解を深めるとともに、情報教育や教育の情報化におけるICT支援の内容や方法について扱う。	浅羽修丈	15,400	7月	3月	
		情報教育の実践 小中学校でのプログラミング教育で使われるビジュアルプログラミング言語を習得する。	中塚隆/荒川等	15,400	2月	3月	
		計算機システム 計算機システムの基本構成、動作原理、機能およびその機能の実現方法等について解説する。	江本健斗	15,400	8月	3月	
		プログラミング プログラミング言語Cを用いて、プログラムとは何か、プログラミング言語にはどのような機能があるか、現実の問題を計算機によってどのように解決するかを修得する。	嶋田和孝	15,400	12月	3月	
		コンピューターグラフィックス 実習を通してコンピューターグラフィックスの仕組みを理解するとともに、プログラミングの技術も深める。	乃万可	15,400	1月	3月	
		—	PSP/TSP 入門 個人やチームで期限や予算を守りつつ高品質なソフトウェアを開発するための合理的なマネジメント手法の概要を講義し、演習を通して規模と時間の見積もり、計画の立案と追跡、品質改善の手法の概要を修得する。	片峯恵一/梅田政信/ 日下部茂/荒木俊輔/ 他			詳細はお問合せ下さい
		—	PSP 個人がプログラムを開発するためのソフトウェアプロセス(PSP)の基本的知識を講義し、演習を通してソフトウェア規模と開発時間の見積もり、計画立案と追跡、品質計画、品質測定、品質改善の手法を修得する。	片峯恵一/梅田政信/ 日下部茂/荒木俊輔/ 他			詳細はお問合せ下さい
—	TSP チームでソフトウェアを開発するためのチームソフトウェアプロセスの基本的知識を講義し、演習を通して自立チームの構築、ソフトウェアの規模と時間の見積もり、プロジェクト計画の立案と遂行の追跡、品質管理と品質改善、プロジェクトメンバー間のコミュニケーションなどの手法を修得する。	片峯恵一/梅田政信/ 日下部茂/荒木俊輔/ 他			詳細はお問合せ下さい		
DX 人材	—	ERP 入門 企業経営における経営情報システムの役割、ERPシステムの基礎、およびERPシステムの構成と機能について修得する。	外部講師			詳細はお問合せ下さい	
—	—	情報処理・データサイエンス アルゴリズムおよびそれを解析するための数学的な能力を修得する。また、データサイエンス・AIについての基礎的な考え方や使用方法を修得する。	井上雅世			詳細はお問合せ下さい	

(※1)開講時期・募集時期は予定のため、変更の可能性があります。最新の情報はHPでご確認ください。
(※2)履修証明プログラムとしての実施を予定。



Kyutech ARISE

HP:<https://www.kyutech-arise.co.jp>

mail:info@kyutech-arise.co.jp



コース概要

変革できる学びの共創プラットフォーム
Kyutech ARISE
<https://www.kyutech-arise.co.jp>

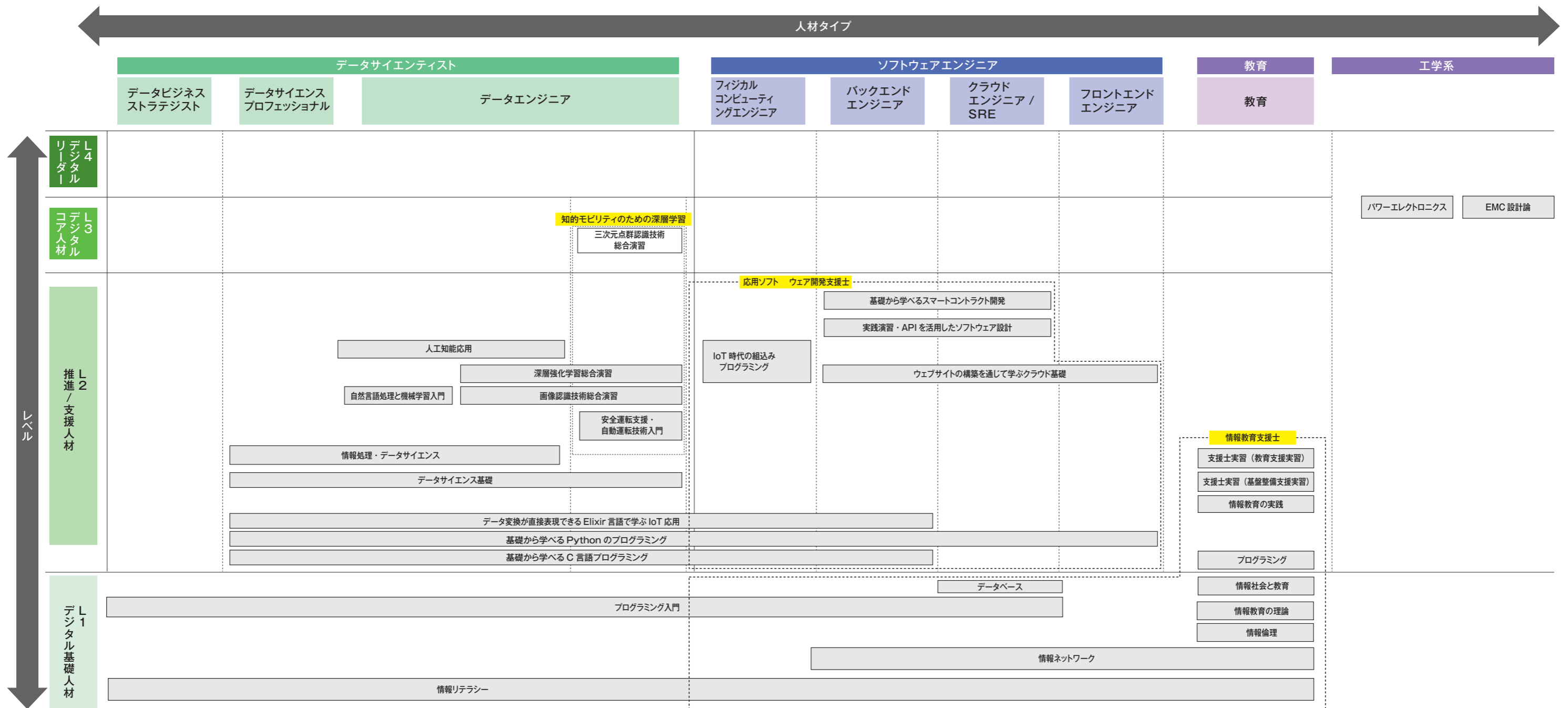
九州工業大学講師陣による社会人の新しい“学び”を創造します

Course Overview Brochure



本表は第4次産業革命に向けて求められる新たな領域の“学び直し”の指針として策定されたITSS+を参考に作成しております。

掲載科目には提供予定科目を含んでおり、変更となる場合がございます。



AI・データサイエンスコース

コース概要

コースの内容

- AI・データサイエンスに関する内容を学習する講座**
- ▶データサイエンティスト(基礎)講座:データサイエンス基礎、Python入門、自然言語処理と機械学習入門
 - ▶生成AI講座:基礎～応用レベル
 - ▶知的モビリティのための深層学習:人工知能応用、安全運転支援・自動運転技術入門、画像認識技術総合演習、三次元点群認識技術総合演習、深層強化学習総合演習
 - ▶その他科目: AIで用いられるデジタル処理とそのLSI設計、情報処理・データサイエンス、人工知能応用

主な対象者

- データサイエンス・機械学習を基礎から学びたい社会人
- 生成AIの活用事例を学びたい社会人

得られるスキル

- AI活用の為の基本知識及びスキル
- 業務へのAI応用の為の開発スキル
- データの活用スキル・新規事業開発の基礎能力

Pick Up! 科目

データサイエンス基礎

機械学習によるデータ分析の基礎について学びます。基礎力に焦点を置き、機械学習の概要からデータの前処理、基本的な機械学習モデルの種類の紹介とその使い方までを扱います。車両に搭載されるセンサ(カメラ、LIDARなど)についても個別に解説します。

安全運転支援・自動運転技術入門

安全運転支援・自動運転技術の発展を支える技術について学びます。特に、深層学習による交通環境の認知の高精度化の歴史に焦点を絞り、技術解説します。

画像認識技術総合演習

車載カメラを用いた画像認識技術の理解を深めることを目標として、MATLABを利用した深層学習について演習を行います。本演習科目を受講する上では、深層学習に関する基礎知識、およびMATLABの基本的な利用法を修得済みであることが望ましい。

三次元点群認識技術総合演習

車載LIDARを用いた三次元点群認識技術の理解を深めることを目標として、MATLABを利用した深層学習について演習を行います。本演習科目を受講する上では、深層学習に関する基礎知識、およびMATLABの基本的な利用法を修得済みであることが望ましい。

深層強化学習総合演習

知的なモビリティの実現には、ロボットの身体性等を考慮して自律的に適切な行動が獲得できることは重要です。本演習では二足歩行ロボットを題材に、深層学習による強化学習をMATLABを利用して実装し、深層強化学習についての理解を深めます。

生成系AI入門

生成AI概要、背景、現代の具体的な活用方法をワークショップ形式で学びます。日々の業務プロセスに生成AIを取り入れることで、どのように生産性を向上させることができるのか理解を深め、プロンプトエンジニアリングに焦点を当て、生成AIを用いた実践的な問題解決スキルを身につけることを目指します。

高度ソフトウェア開発者コース

コース概要

コースの内容

目的は、経済産業省の発表で2030年に最大79万人の不足が予想される情報技術(ソフトウェア開発、システム運用、データ分析、ネットワークなど)に関して、高度な知識とスキルを持つIT人材の不足(質・量)を解決することです。本コースでは、クラウド、IoT、セキュリティ、データサイエンス、プロジェクトマネジメントなどとともに、最先端の技術に精通し、状況に応じた適切なソリューションを創成できる高度ソフトウェア開発者の育成を目指します。また、社会の進化をリードする学校教育・学校現場のICT化に対応すべく、初等・中等・高等教育の現場で活躍できる人材の育成も目指します。

主な対象者

DX推進、IoT、クラウドサービス、ソフトウェア開発、プロジェクトマネジメントなど、高度ITソフトウェア開発を担う人材へと成長したい人、さらなるスキルアップを目指す人

開講予定講座

履修証明プログラム(社会人等の受講生に対して法に基づいて交付される履修証明書付きプログラム)として開講予定です。

情報基盤整備支援士講座:企業のDX化、学校のICT化を支援する基盤/機器の整備支援者の養成

情報教育支援士講座:小・中・高等学校から生涯学習に至るまでの情報教育支援者の養成

応用ソフトウェア開発支援士講座:理工系人材が情報産業への転職および新規採用するための基礎教育

その他、PSP、TSPなど社会のニーズに応じた実践的な講座が設計される計画です。

Pick Up! 科目

基礎から学べるPythonプログラミング

Pythonの文法について学び、正規表現やクラス概念を理解し、データ処理の基礎を学びます。特に、正規表現やディクショナリ、各種ライブラリを使う方法について理解し、機械学習ライブラリの動作までを学びます。

IoT時代の組み込みプログラミング

IoTのための組み込みシステムの開発を、効率的な構築手法の習得を織り交ぜつつ学びます。MPUボードを用いたシステム開発のスキル、オブジェクト指向と実時間システムに基づいた手法でネットワーク上の連携を実現するスキルを習得します。

基礎から学べるスマートコントラクト開発

ブロックチェーンの仕組みとスマートコントラクトを利用したアプリの開発方法を学びます。Solidity言語を用いたスマートコントラクトを作成し、ブロックチェーンを利用したアプリケーション作成のスキルを学びます。

実践演習・APIを活用したソフトウェア設計

ソフトウェア開発では、APIを活用して機能を改良することや開発工数の削減が重要なスキルとなります。本演習はAPIを活用した実践的なスキルを学びます。特に、ソフトウェア設計の例としてLINEのポット制作を通じて、APIのセキュリティおよび使い方を習得し、他のAPIへも応用できるスキルを学びます。

ウェブサイトの構築を通じて学ぶクラウド基礎

ソフトウェアの開発、ローンチにおいて必須の技能となっているクラウドの基礎を学びます。WordPressを題材に、クラウド上にウェブサイトを構築することを通じて、クラウドの概念、コンピュータリソースの作成、接続などのクラウド利用の基礎を修得します。

データ変換が直接表現できるElixir言語で学ぶIoT応用

データ変換を直感的に記述できる関数型言語Elixirを用いてIoT開発を学びます。温度・湿度センサーを取り付けたRaspberry Pi 4からデータを読み取り、グラフ描画を行う処理を通じてIoT開発に関するスキルを習得します。

DX 経営人材コース

コース概要

コースの内容

目的は、業務を遂行する上で戦略的な価値観や意識を持って行動する思考と経営視点を養うことです。

本コースでは、マネジメントに必要な経営視点や論理的思考力、IT素養と情報システムの本質的理解を持ち合わせたDX推進者の育成を目指します。

ERP講座:基礎～応用レベル
ビジネススキル講座:デザインシンキング

主な対象者

- 将来マネジメント層としての活躍を目指す若手ビジネスパーソン
- DX推進担当者や、ITと基礎ビジネススキルを学びたい人

得られるスキル

- マネジメントに必要なビジネススキルとマインドセット及びIT素養
- 企業戦略や戦術策定に用いるERPの活用方法

Pick Up ! 科目

ERP 入門

1. 授業概要

企業や公的機関などの多くの組織の運営に情報システムが活用され、「経営情報システム」とよばれます。企業経営において情報活用の重要性が増すにつれ、組織の基幹業務間での情報共有を前提とした経営情報システムであるERPシステムの導入が必須となっています。本講義では、企業経営における経営情報システムの役割、ERPシステムの基礎、およびERPシステムの構成と機能について学修します。

2. 授業項目

<p>(1) 情報システム論</p> <p>情報システムの導入において必要となる情報システムの定義、特徴、役割、構成要素などについて修得する。</p>	<p>(2) 経営情報システム</p> <p>企業や組織の経営活動において経営情報システムを導入する意義を修得する。さらに経営情報システムを用いた意思決定を経営管理システムの観点から修得する。</p>	<p>(3) ERPシステム概要</p> <p>ERPの概念と経営活動においてそれを実践するために必要となるERPシステムの概要について修得する。</p>
<p>(4) 会計システム</p> <p>① 財務会計システム</p> <p>企業における一般的な財務会計プロセス、その業務プロセスを処理するためのERPシステムの構成と機能について修得する。</p>	<p>(5) 会計システム</p> <p>② 管理会計システム</p> <p>企業における一般的な管理会計プロセス、その業務プロセスを処理するためのERPシステムの構成と機能について修得する。</p>	<p>(6) システム連携</p> <p>① 会計システムの連携</p> <p>財務会計プロセスおよび管理会計プロセスと他の基幹業務プロセスとの機能連携について修得する。</p>
<p>(7) 販売管理システム</p> <p>① 構成</p> <p>企業における一般的な販売会計プロセス、その業務プロセスを処理するためのERPシステムの構成について修得する。</p>	<p>(8) 販売管理システム</p> <p>② 機能</p> <p>企業における一般的な販売会計プロセスを処理するためのERPシステムの機能について修得する。</p>	<p>(9) システム連携</p> <p>② 販売管理システムの連携</p> <p>販売管理プロセスと他の基幹業務プロセスとの機能連携について修得する。</p>
<p>(10) 在庫管理システム</p> <p>企業における一般的な在庫管理プロセス、その業務プロセスを処理するためのERPシステムの構成と機能、他の基幹業務プロセスとの機能連携について修得する。</p>	<p>(11) 生産管理システム</p> <p>① 構成</p> <p>企業における一般的な生産管理プロセス、その業務プロセスを処理するためのERPシステムの構成について修得する。</p>	<p>(12) 生産管理システム</p> <p>② 機能</p> <p>企業における一般的な生産管理プロセスを処理するためのERPシステムの機能について修得する。</p>
<p>(13) システム連携</p> <p>③ 生産管理システムの連携</p> <p>生産管理プロセスと他の基幹業務プロセスとの機能連携について修得する。</p>	<p>(14) 経営情報システムの動向</p> <p>IoT、AI等の情報技術の導入、DXへの取り組みにおける経営情報システム活用に関する事例を修得する。</p>	<p>(15) 期末試験</p>

交流事業の案内

全体概要

with Kyutech

九州工業大学で学んだ仲間（アソシエ）が、修了後もずっと学べる場所。



九州工業大学の講師から学び続ける、九工大アソシエと学び合う。産学連携で共創する、生涯リスキングのプラットフォーム

具体的なサービス内容について

- ① Webコンテンツで学ぶ:** 九工大卒業生が最新エンジニアリングを学べるwebページ（毎月）
 - ・ 卒業生の学びにつながる情報を、継続的にwebプラットフォームで提供
 - ・ 講師陣が提供した情報について言及
 - ・ 副業募集の情報提供
- ② Webセミナーで学ぶ:** 講師陣がさまざまなテーマで、セミナーを実施（四半期一回）
 - ・ 最新のエンジニアリングに関する様々なセミナーを実施
 - ・ 2ヶ月に一回のオンライン交流会
- ③ イベントで学び合う:** 年2、3回の学び合いカンファレンス（東京・福岡等の対面イベント）
 - ・ 九州工業大学で学ぶ/学んだ者、講師、協賛企業、連携教育機関等の学び合い交流会
 - ・ オプション1：企業専用掲示板（企業が直接繋がる掲示板）
 - ・ オプション2：九工大教員の講師派遣（プライベートセミナー）

項目	ブロンズパートナー	プラチナパートナー	ダイヤモンドパートナー
Webコンテンツで学ぶ	◎	◎	◎
Webセミナーで学ぶ	◎	◎	◎
学び合いカンファレンス参加	○（参加費5万円）	◎	◎
セミナー優先登壇権	-	○	◎
研修受講チケット	16万円分(中級4科目)	16万円分(中級4科目)	40万円分(中級10科目)
企業ロゴとHPリンク掲載	企業名のみ掲載	◎	◎
学長主催TOP交流会	-	○会食費は別途	◎
スポンサー費用（年額）	1口	2口	5口以上

スポンサー費用 1口:440,000円(税込)